

件 名

「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果について

提出理由

本年度実施された全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果等について、別紙のとおり報告します。

概 要

- 1 「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果
 - (1) 調査の概要
 - ア 調査の目的
 - イ 調査方法
 - ウ 結果の公表
 - (2) 県平均値（さいたま市を含む。）の結果
 - ア 体力合計点
 - イ 総合評価
 - ウ 各項目の全国順位の推移

エ 運動習慣

オ 運動やスポーツに対する意識

カ 肥満度の状況

キ スクリーンタイム（テレビ・DVD・ゲーム機・スマートフォン・パソコン等の画面を視聴する時間）

ク 体力向上目標の設定・授業における目標の意識や振り返りによる効果

2 令和5年度調査結果の概要

(1) 結果

(2) 課題

(3) 課題解決に向けて

1 「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果

(1) 調査の概要

ア 調査の目的

(ア) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

(イ) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(ウ) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

イ 調査方法

(ア) 実施期間 令和5年4月から7月まで

(イ) 対 象 国公立の小学校5年生、中学校2年生（悉皆調査）

（ * 義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校のそれぞれに相当する学年に属する児童生徒を含む。 ）

(ウ) 実施項目

実技に関する調査（8項目）、質問紙調査（運動習慣・生活習慣等）

		テスト項目						
小学校 5年生	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20mシャトルラン*1	50m走	立ち幅 とび	ソフトボール 投げ
中学校 2年生					20mシャトルランか 持久走*2の選択			ハンドボール 投げ

* 1 往復持久走（一定の間隔で鳴る電子音に従って20m走り、折り返し回数を測定）

* 2 男子は1500m、女子は1000m

(エ) 参加校数・人数（公立学校のみ・さいたま市を含む。）

		実施校数	男子（人）	女子（人）	合計（人）
小学校	全国公立	18,693	498,654	479,104	977,758
	埼玉県公立（さいたま市を含む。）	790	28,378	27,750	56,128
中学校	全国公立	9,427	446,541	421,373	867,914
	埼玉県公立（さいたま市を含む。）	416	26,744	25,317	52,061

ウ 結果の公表

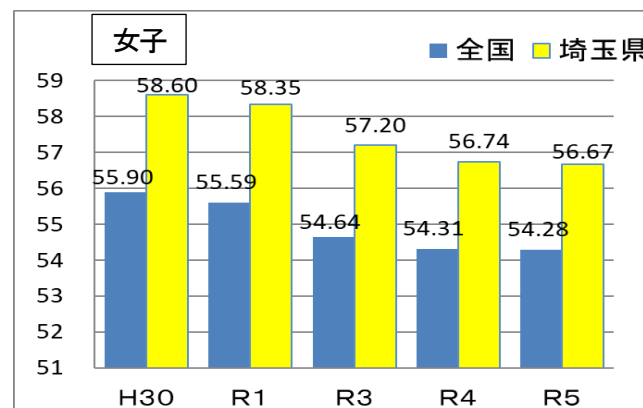
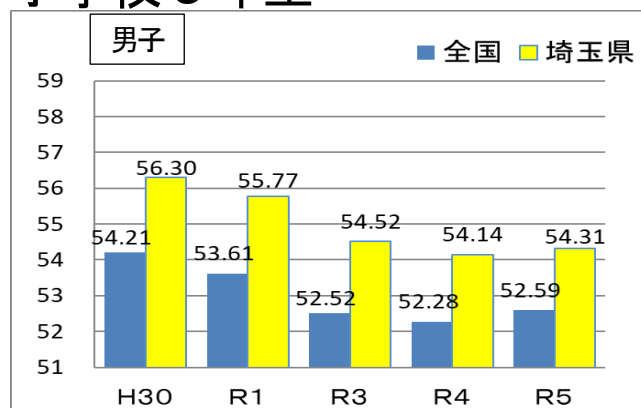
令和5年12月22日

(2) 県平均値（さいたま市を含む。）の結果

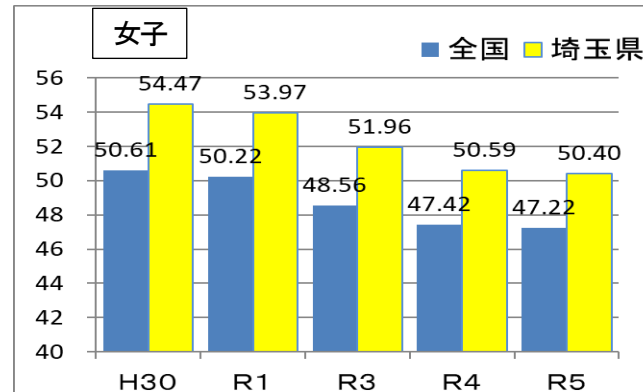
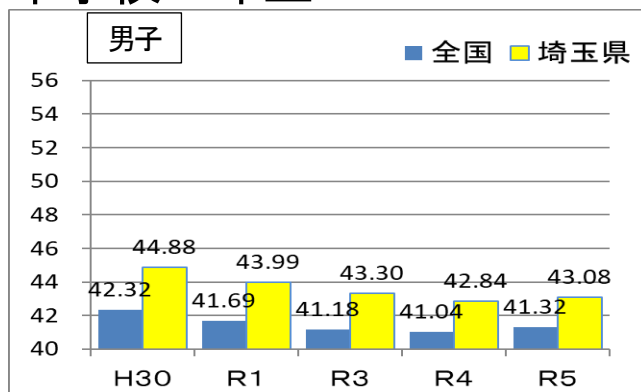
ア 体力合計点（各実技項目の成績を年齢及び性別ごとに区分した項目別得点表に当てはめ、1～10点の10段階で点数化した8項目の合計点数）

(ア) 体力合計点（全国・埼玉県）の学年別・男女別における推移

小学校5年生

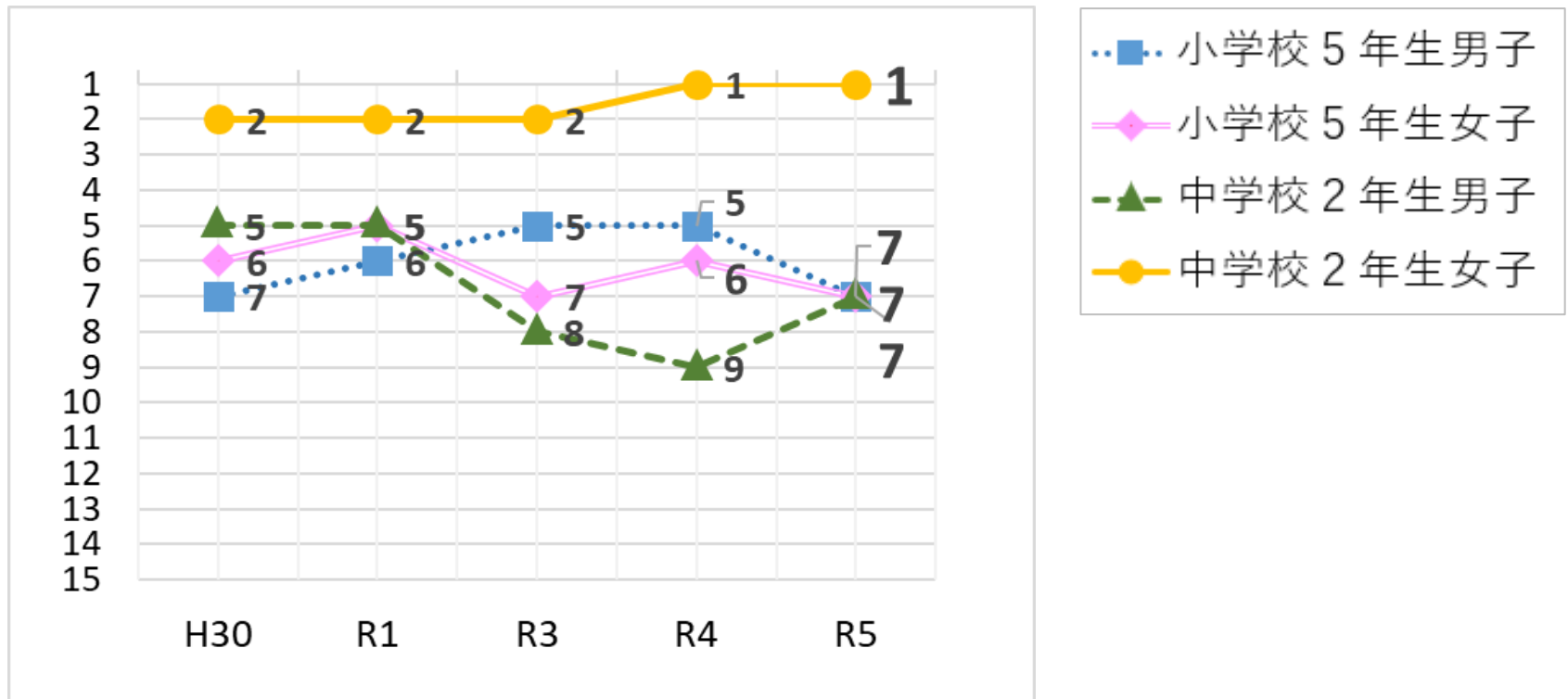


中学校2年生



○体力合計点は昨年度と比べて、小・中学校の男子は向上し、小学校の女子は横ばい、中学女子は若干の低下であった。

(イ) 体力合計点の全国順位の推移



○体力合計点の全国順位の推移は、小学校 5 年生男女、中学校 2 年生男女ともに全国の上位を維持しており、中学校 2 年生女子は、2 年連続で全国 1 位の結果であった。

イ 総合評価

体力合計点によるAからEの5段階の評価

小学校5年生

区分	男子						女子					
	A	B	C	D	E	A+B+C	A	B	C	D	E	A+B+C
令和4年度 埼玉県	12.3%	25.5%	33.1%	20.5%	8.6%	70.9%	18.7%	29.8%	32.1%	15.1%	4.2%	80.6%
令和5年度 埼玉県	12.8%	26.1%	32.7%	19.9%	8.6%	71.6%	18.9%	29.4%	31.7%	15.6%	4.4%	80.0%
令和5年度 全国	10.4%	21.8%	32.1%	23.2%	12.6%	64.3%	13.3%	23.9%	33.5%	21.3%	8.0%	70.7%

中学校2年生

区分	男子						女子					
	A	B	C	D	E	A+B+C	A	B	C	D	E	A+B+C
令和4年度 埼玉県	10.6%	27.0%	34.8%	20.9%	6.7%	72.4%	32.5%	32.4%	24.1%	9.3%	1.8%	89.0%
令和5年度 埼玉県	11.2%	27.5%	34.3%	20.2%	6.8%	73.0%	32.5%	31.0%	24.5%	10.1%	1.9%	88.0%
令和5年度 全国	8.6%	24.1%	34.6%	23.6%	9.1%	67.3%	23.8%	29.1%	28.1%	15.2%	3.9%	81.0%

(*合計は、四捨五入の関係で100%にならない場合がある。)

○A+B+Cの児童生徒の割合は、小・中学校の男女ともに全国平均値を大きく上回っており、昨年度と比較すると男子は上回り、女子は下回った。

ウ 各項目の全国順位の推移

小学校5年生

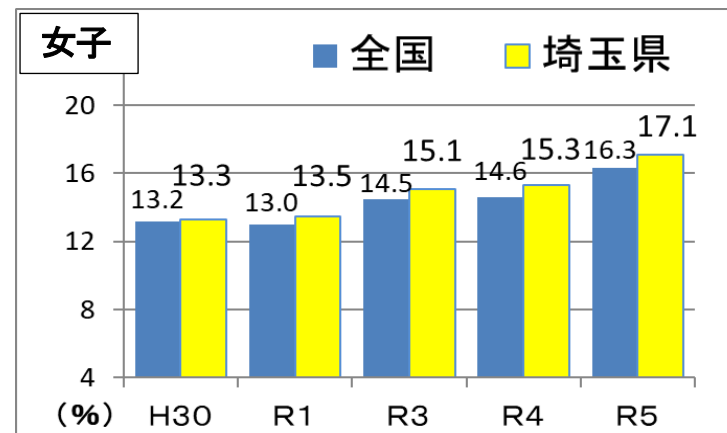
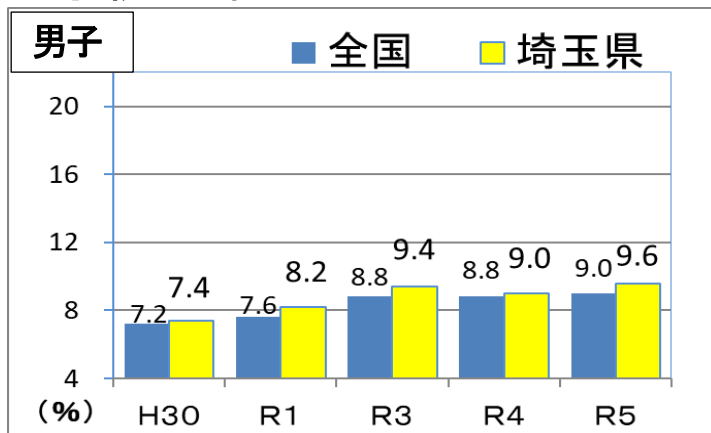
小学校5年生		握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	持久走	20m シャトルラン	50m 走	立ち幅 とび	ボール 投げ	体力 合計点
男子	平成25年度	26	3	8	6	—	6	4	4	43	6
	平成26年度	24	2	7	7	—	7	5	4	45	6
	平成27年度	28	2	7	7	—	8	5	4	45	7
	平成28年度	20	1	4	8	—	5	6	4	47	8
	平成29年度	23	2	5	7	—	7	4	3	45	8
	平成30年度	24	1	5	6	—	7	5	5	42	7
	令和元年度	24	1	4	5	—	7	5	2	43	6
	令和3年度	26	1	6	8	—	7	6	6	45	5
	令和4年度	29	1	7	7	—	7	3	6	45	5
	令和5年度	28	1	5	7	—	9	8	7	46	7
女子	平成25年度	20	3	7	5	—	7	4	4	41	5
	平成26年度	23	2	5	7	—	6	3	2	39	5
	平成27年度	19	2	4	7	—	7	3	3	39	5
	平成28年度	13	2	3	8	—	6	3	3	37	5
	平成29年度	15	2	4	8	—	6	4	2	37	5
	平成30年度	19	2	4	9	—	7	3	3	37	6
	令和元年度	20	1	3	7	—	7	4	3	35	5
	令和3年度	21	1	5	9	—	9	4	5	39	7
	令和4年度	21	1	5	10	—	8	4	7	39	6
	令和5年度	21	1	5	9	—	13	5	6	39	7

中学校2年生

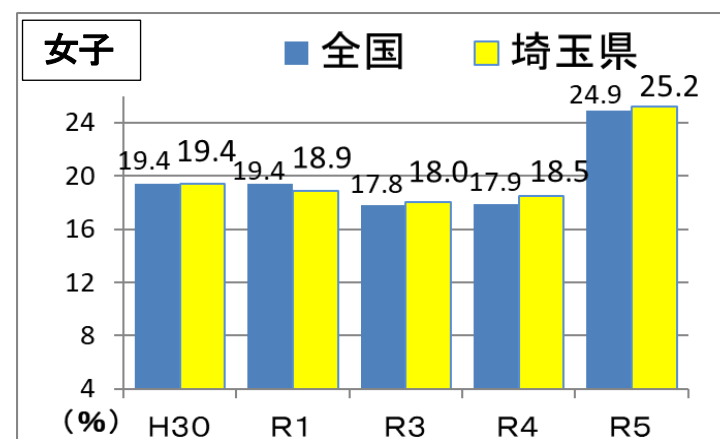
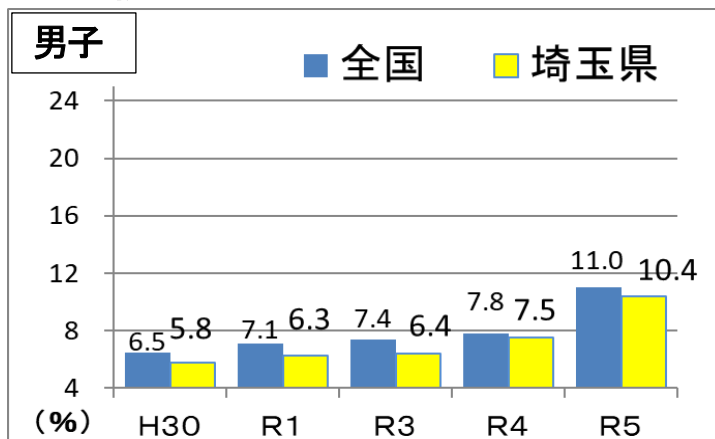
中学校2年生		握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	持久走	20m シャトルラン	50m 走	立ち幅 とび	ボール 投げ	体力 合計点
男子	平成25年度	20	1	3	15	2	8	4	13	13	7
	平成26年度	19	1	2	7	2	2	3	9	12	4
	平成27年度	20	1	2	10	2	3	4	12	13	7
	平成28年度	24	1	2	11	2	2	7	12	13	5
	平成29年度	20	1	1	7	2	10	3	9	12	5
	平成30年度	22	1	1	8	2	4	4	12	13	5
	令和元年度	21	1	1	6	2	3	4	9	15	5
	令和3年度	21	1	1	16	5	16	4	18	14	8
	令和4年度	24	1	1	24	7	9	2	12	12	9
	令和5年度	22	1	1	30	4	3	1	16	12	7
女子	平成25年度	3	1	4	12	2	3	3	7	7	4
	平成26年度	1	1	1	4	2	2	2	2	4	3
	平成27年度	2	1	2	5	2	2	4	2	8	3
	平成28年度	1	1	1	4	3	2	2	3	6	3
	平成29年度	2	1	2	3	3	3	2	3	5	3
	平成30年度	1	1	1	3	2	3	2	4	7	2
	令和元年度	1	1	2	2	4	2	2	2	5	2
	令和3年度	5	1	1	10	4	5	3	6	5	2
	令和4年度	5	1	1	15	10	3	1	3	7	1
	令和5年度	3	1	1	14	4	3	1	3	4	1

エ 運動習慣

(ア) 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合 小学校5年生



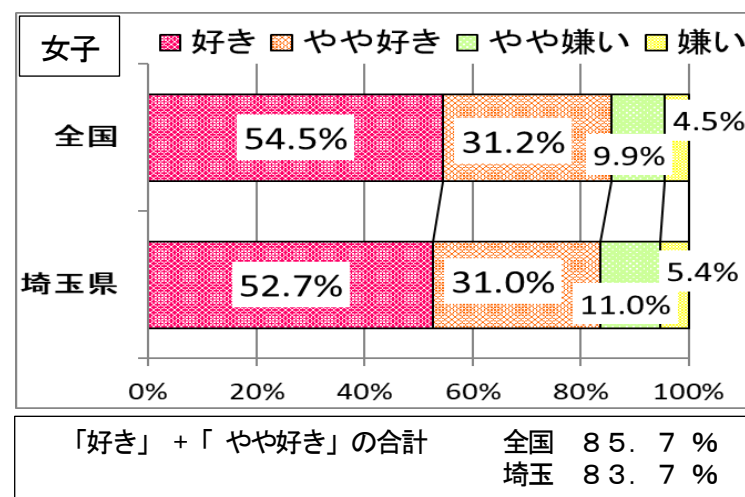
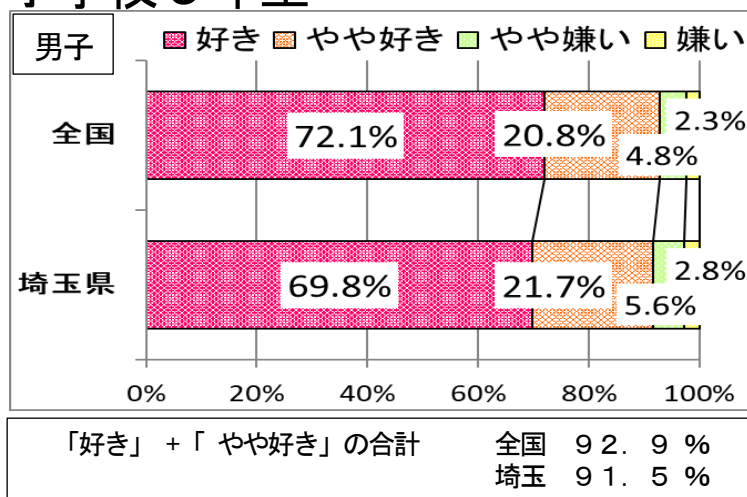
中学校2年生



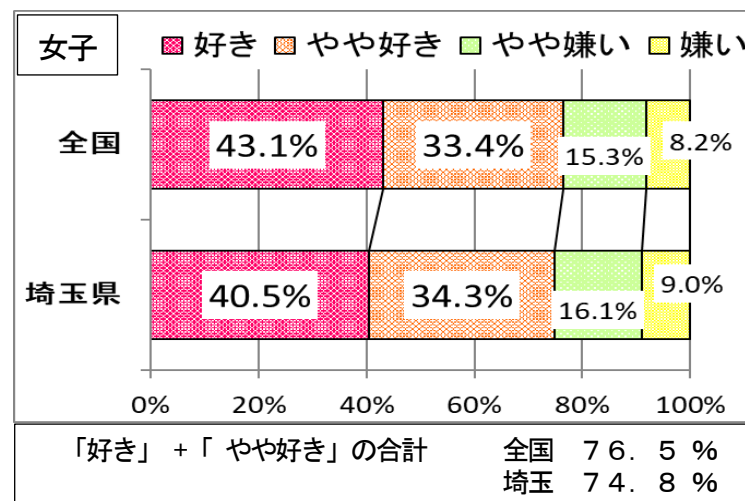
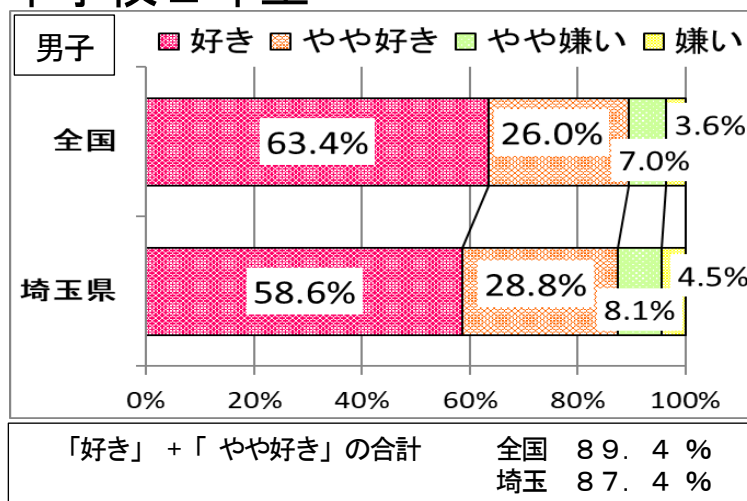
- 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、全体的に増加傾向であり、中学校2年生の男子は全国平均値を下回ったが、小学校5年生の男女、中学校2年生の女子は上回った。

オ 運動やスポーツに対する意識

小学校5年生



中学校2年生

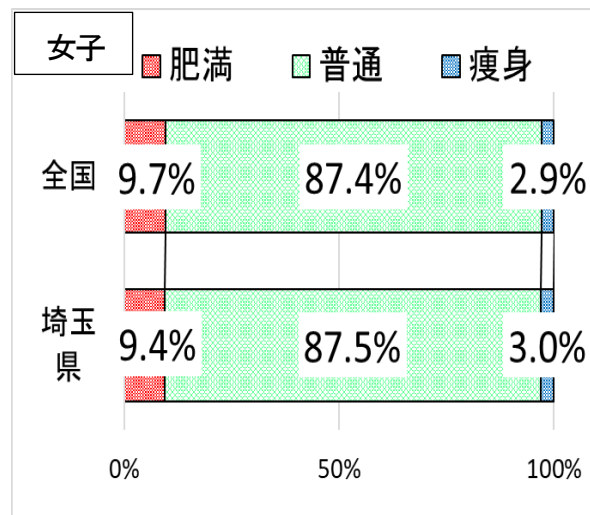
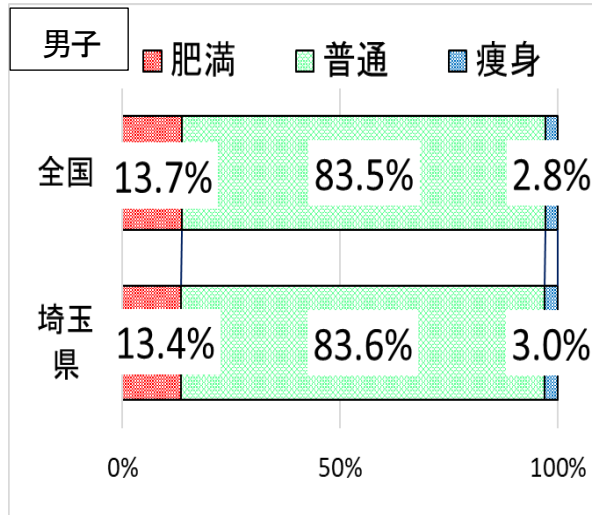


○ 「好き」・「やや好き」を合計した割合は、小・中学校の男女ともに全国平均値を下回っている。

カ 肥満度の状況

(ア) 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

小学校5年生



<肥満傾向児・痩身傾向児の出現率の算出・判定方法>

「児童・生徒の健康診断マニュアル(平成27年度改訂版)」より
平成27年8月25日発行 公益財団法人 日本学校保健会

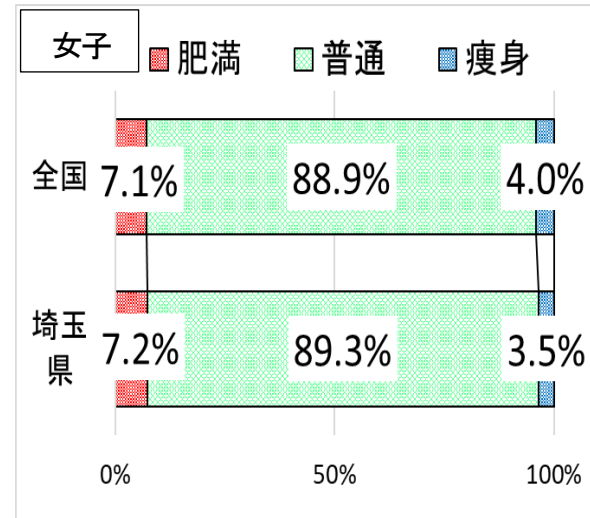
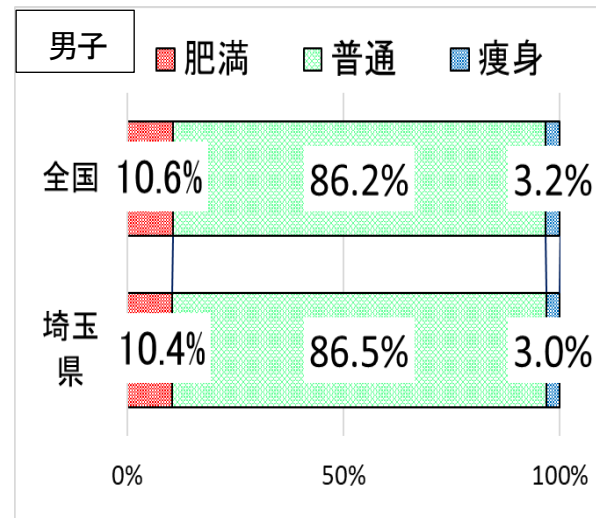
$$\text{標準体重} = a \times \text{身長(cm)} - b$$

$$\text{肥満度(\%)} = \frac{\text{自分の体重(kg)} - \text{標準体重(kg)}}{\text{標準体重(kg)}} \times 100$$

標準体重を求める係数

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
9(小4)	0.687	61.390	0.652	56.992
10(小5)	0.752	70.461	0.730	68.091
11(小6)	0.782	75.106	0.803	78.846

中学校2年生



標準体重を求める係数

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
12(中1)	0.783	75.642	0.796	76.934
13(中2)	0.815	81.348	0.655	54.234
14(中3)	0.832	83.695	0.594	43.264

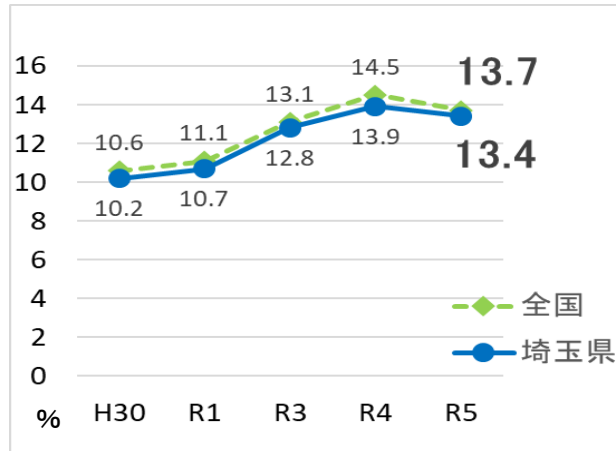
判定基準

肥満度	判定
20%以上	肥満
-19.9 ~ 19.9%	普通
-20%以下	やせ

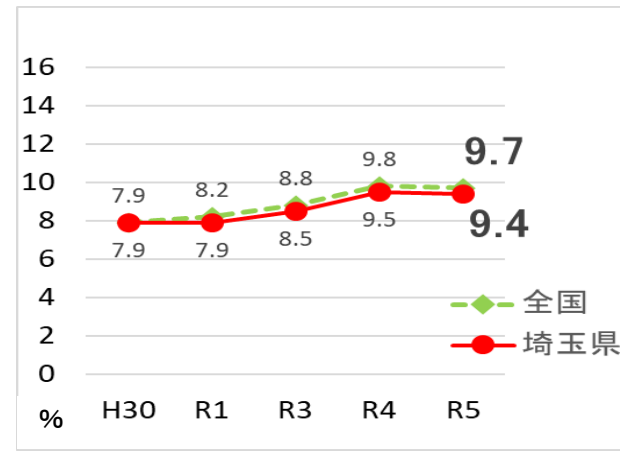
(イ) 肥満傾向児の出現率の経年変化

小学校5年生

男子

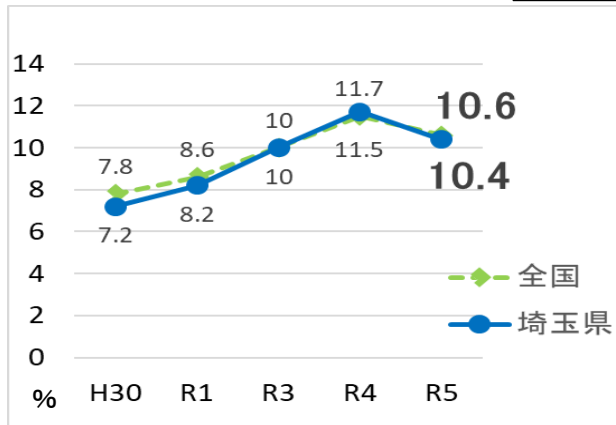


女子

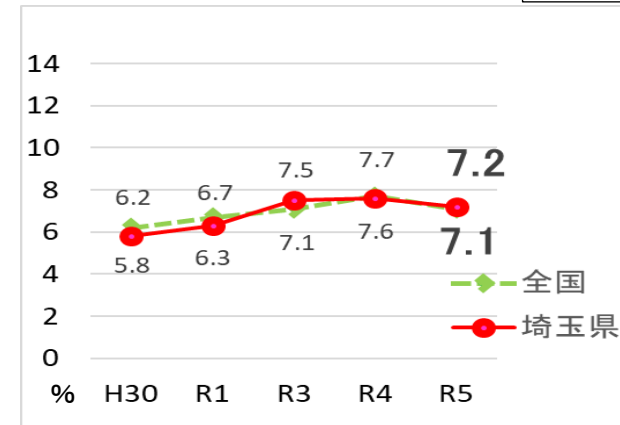


中学校2年生

男子



女子

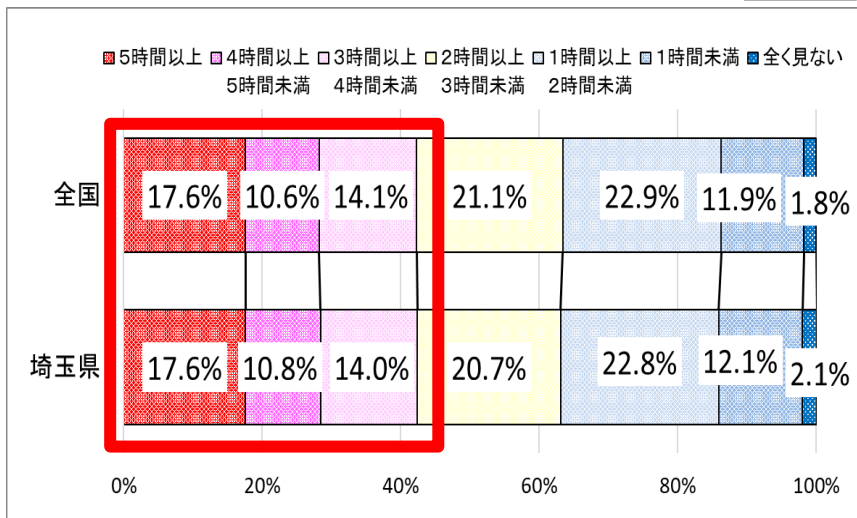


○肥満傾向児については、小学校5年生、中学校2年年生の男女ともに、全国と同程度の出現率の推移であり、昨年度に比べて減少している。

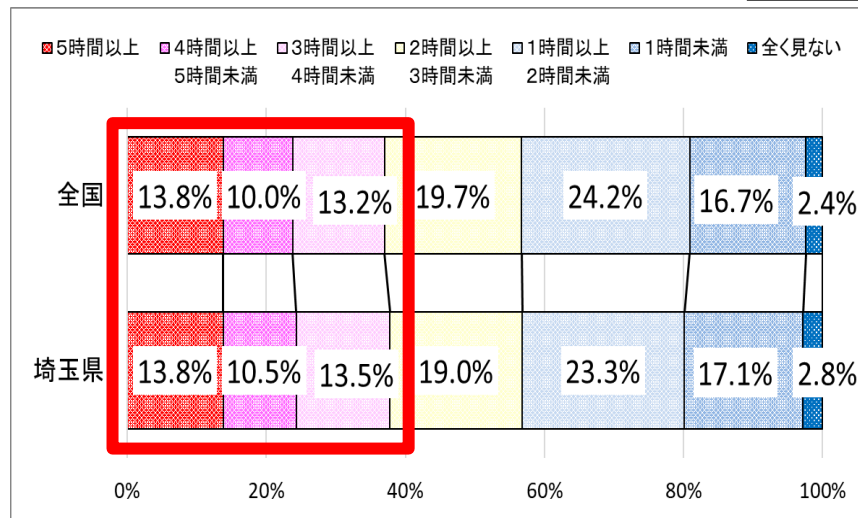
キ スクリーンタイム (テレビ・DVD・ゲーム機・スマートフォン・パソコン等の画面を視聴する時間) (ア) 平日におけるスクリーンタイムの時間 (学習時間を除く。)

小学校5年生

男子

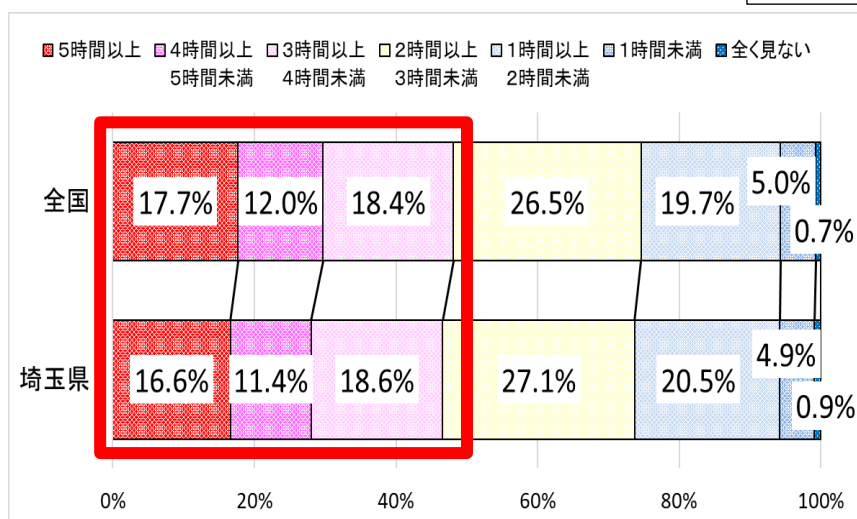


女子

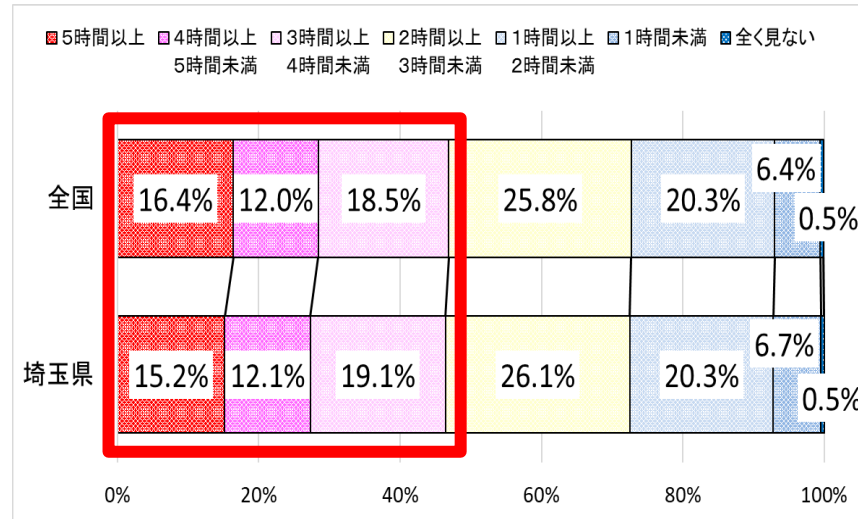


中学校2年生

男子



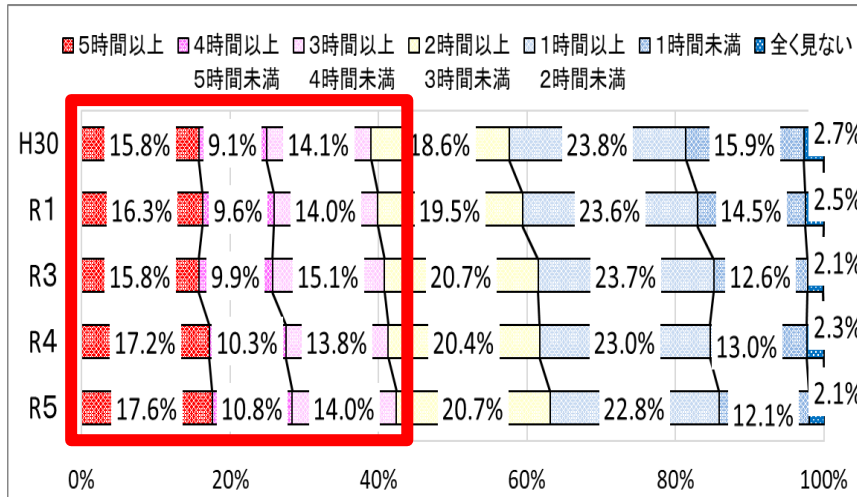
女子



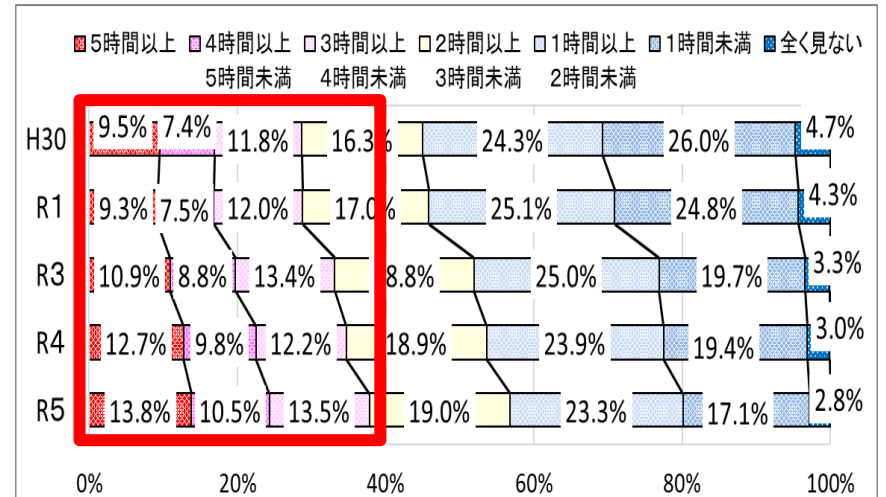
(イ) スクリーンタイムの経年変化 (埼玉県)

小学校5年生

男子

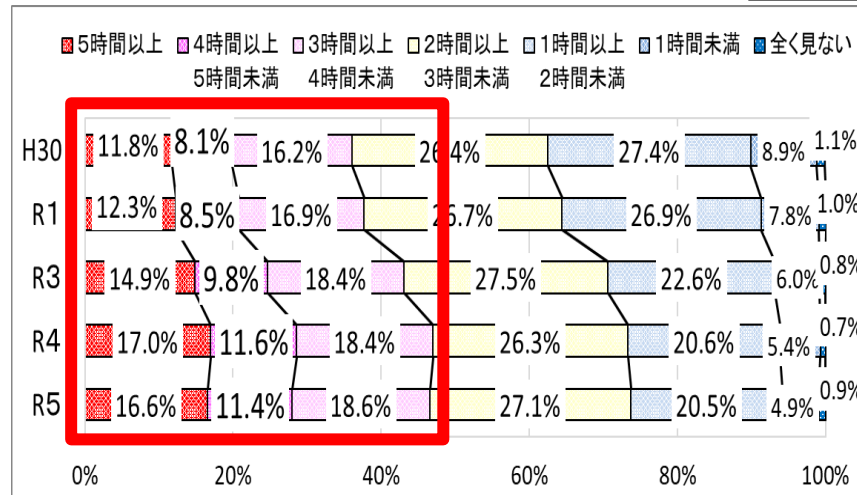


女子

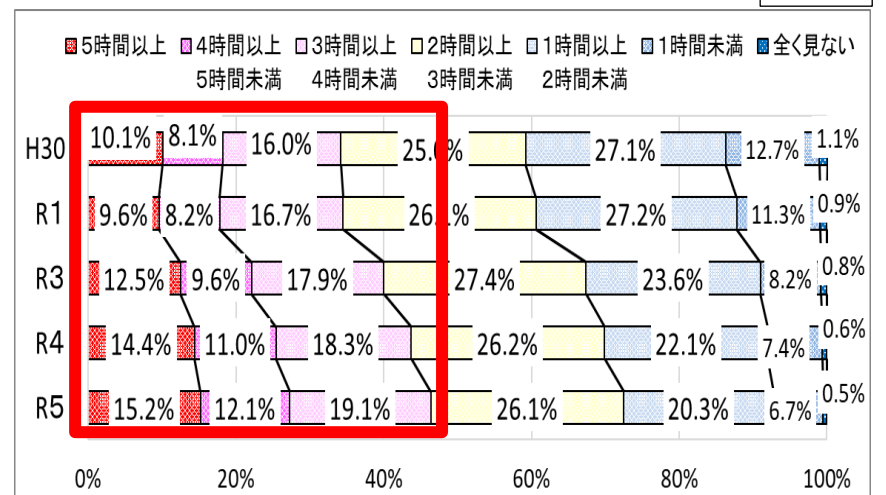


中学校2年生

男子

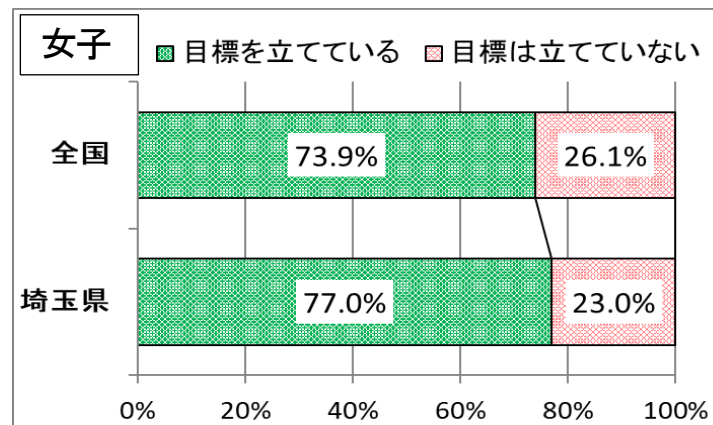
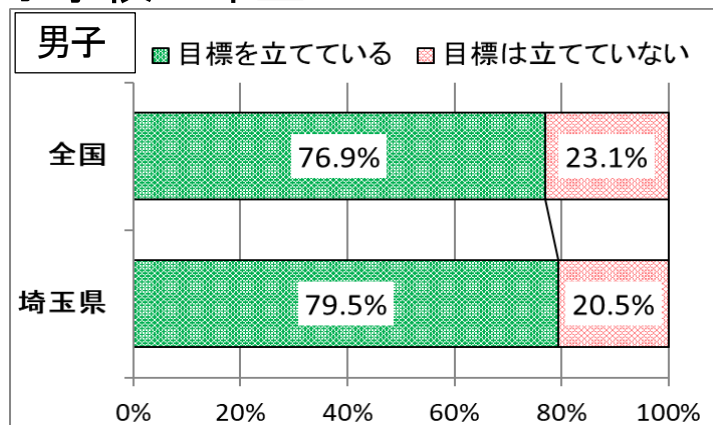


女子

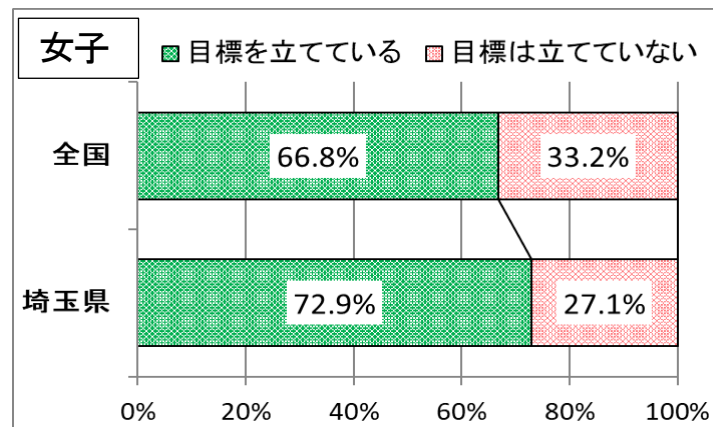
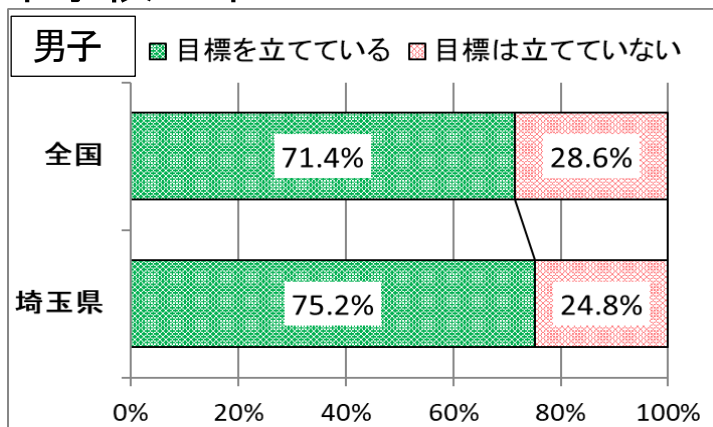


○学習以外のスクリーンタイムは、小学校5年生男女、中学校2年生男女ともに増加傾向にあり、特に女子の増加率が高い。

ク 体力向上目標の設定・授業における目標の意識や振り返りによる効果
 (ア) 体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている児童生徒の割合
 小学校5年生



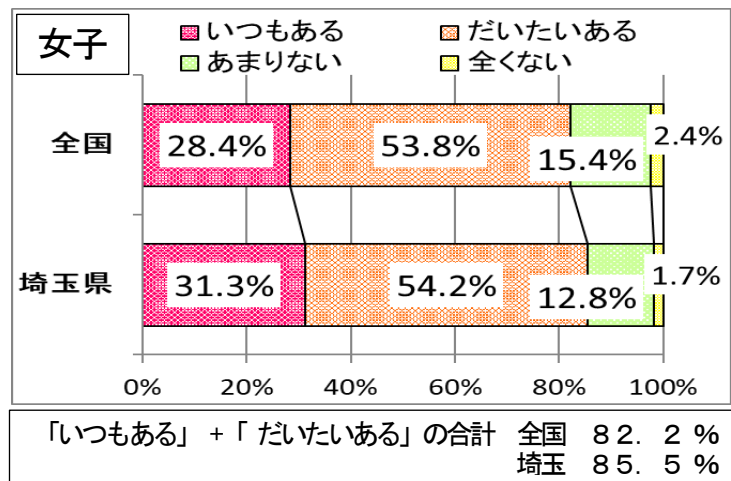
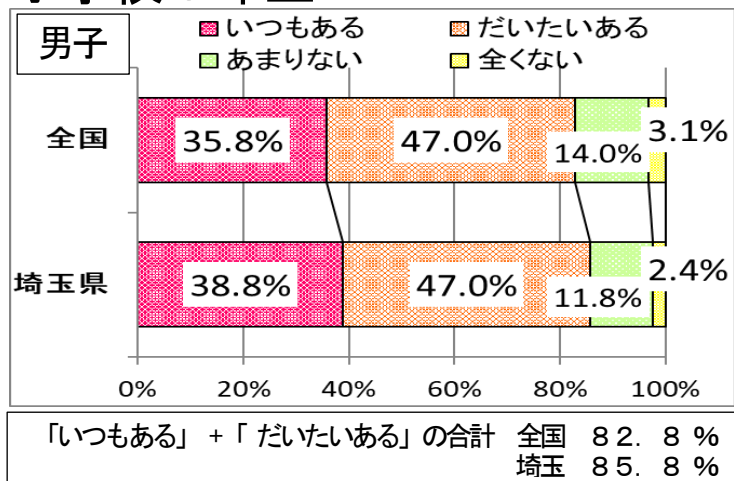
中学校2年生



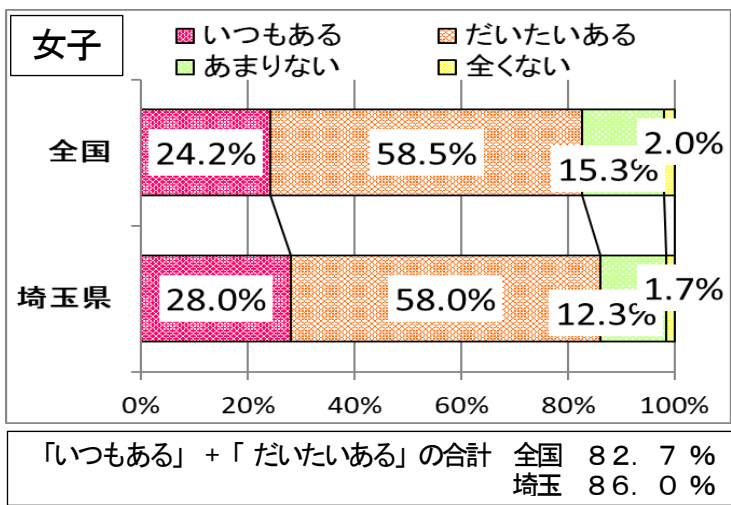
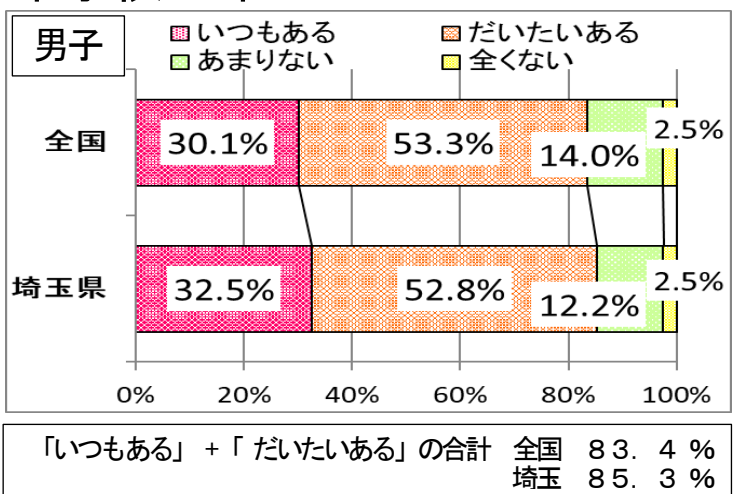
○体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている児童生徒の割合が全国平均を上回っている。

(イ) 体育・保健体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで「できたり、わかったり」することがある児童生徒の割合

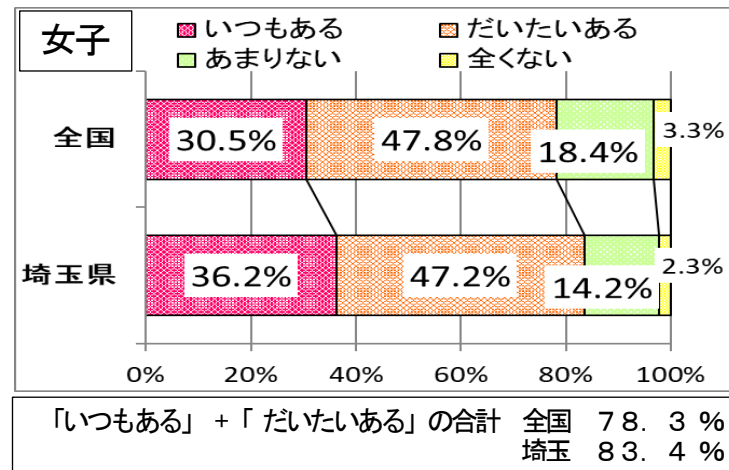
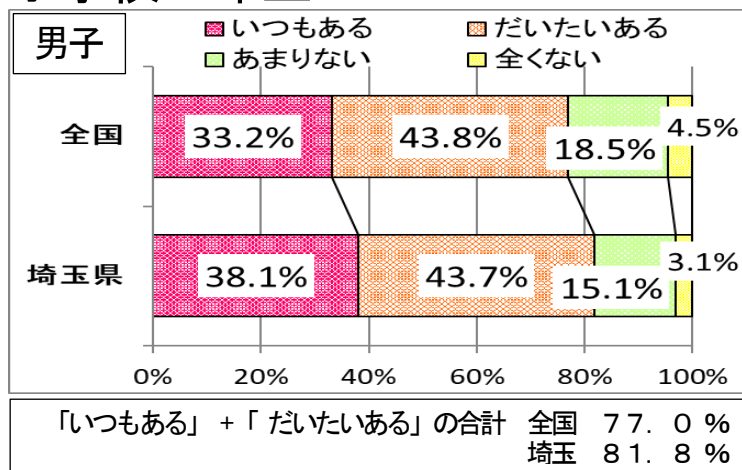
小学校5年生



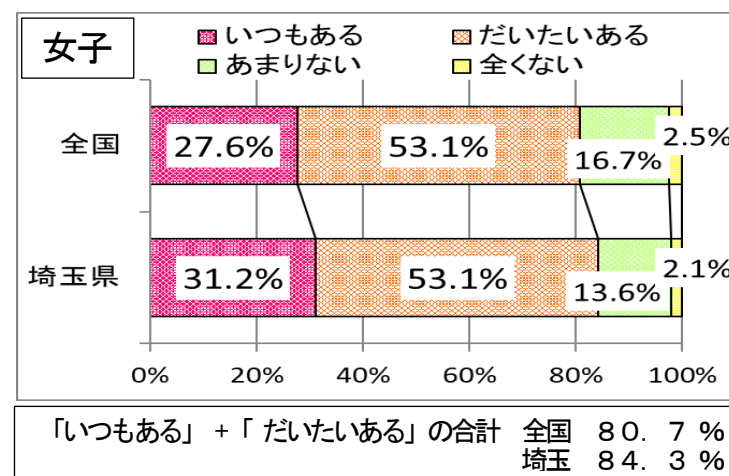
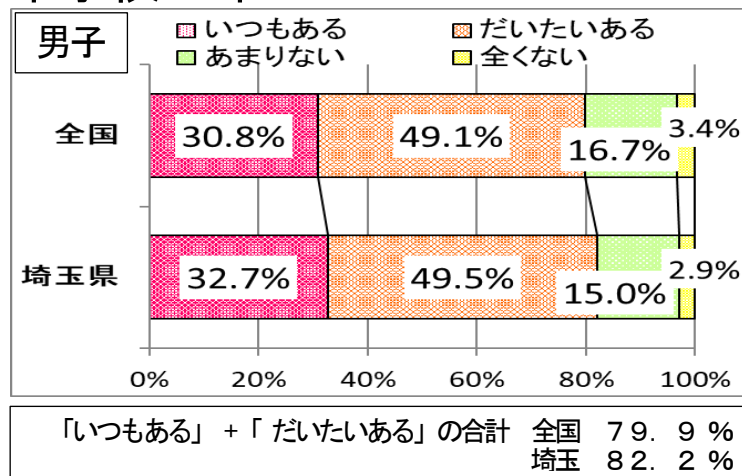
中学校2年生



(ウ) 体育・保健体育の授業の最後に、その授業で学習したことを、振り返る活動があることで、「できたり、わかったり」することがある児童生徒の割合
小学校5年生



中学校2年生



○体育授業で児童生徒が目標を意識したり、振り返ったりする活動を通じて「できたり、わかったり」する割合が全国平均を上回っている。

2 令和5年度調査結果の概要

(1) 結果

- ア 本県の児童生徒の体力合計点は、昨年度と比較すると男子は向上し、女子は低下したが、男子・女子いずれも全国平均値を大きく上回っている。
- イ 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、全体的に増加傾向であるとともに、「運動・スポーツが好き」という児童生徒の割合は、全国平均値を若干下回っている。
- ウ 肥満傾向児の出現率は、昨年度よりも減少したが、一昨年以前よりは高い水準にある。
- エ スクリーンタイムは増加傾向であり、特に女子の増加率が高い。
- オ 体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、目標を立てて取り組んでいる児童生徒の割合は、全国平均値の割合を上回った。
- カ 体育・保健体育の授業において目標を持ったり、振り返ったりする活動を通じて「できたり、わかったり」する児童生徒の割合は、全国平均値の割合を上回った。

(2) 課題

- ア 本県における体力合計点は、全国平均値を大きく上回っているものの、「運動・スポーツが好き」という児童生徒の割合は、全国平均値を下回っているため、引き続き、運動やスポーツに親しむ児童生徒を育成していく必要がある。

イ 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合が増加傾向であるとともに、学習時間以外のスクリーンタイムが長く、肥満傾向児の出現率も高いため、学校のみならず家庭の協力も得て、児童生徒が主体的に運動する習慣の確立を目指す必要がある。

(3) 課題解決に向けて

ア 運動が好きな児童生徒を育成するための授業改善

⇒運動好きな児童生徒育成のためのリーフレットやモデル動画、「運動好きな児童生徒育成検討委員会」における3年間の事業報告書（令和6年3月配信予定）**新規**の活用を促す。

イ 新体力テスト等の結果による個々の実態把握と分析に基づく適切な支援

⇒各校において体力プロフィールシートやICTの一層の活用を推進するため、各市町村教育委員会との連携を深め、授業研究会等で協議する。

ウ 体育の授業以外における運動に関する取組の工夫

⇒体力課題解決研究指定校の優れた実践例（体育の授業以外の運動時間や場所の確保、自作用具等の工夫）を各学校に周知し、運動時間の増加を目指す。

エ 家庭での運動機会の増加や生活習慣の改善に向けた保護者等との連携

⇒家庭でも取り組める運動等を紹介した動画（令和6年3月配信予定）**新規**を作成・配信し、家庭で運動を実践するきっかけを提供する。